

トライアド・コンサルツ コンプライアンス方針

1. 基本理念

トライアド・コンサルツは、日本企業の海外駐在員制度を支える専門コンサルティング機関として、データ・制度運用に関

2. データ管理に関する方針

2.1 データ取得日の厳格な管理

Numbeo、LivingCost、公的統計などのデータは取得日を記録し、一貫性を確保する。

2.2 データの限界に関する理解と説明義務

外部データの偏り・ばらつきを理解し、過剰解釈を避ける説明を行う。

2.3 データアーカイブ管理

半期更新に合わせ、過去データを体系的に保存し検証可能性を担保する。

3. 運用プロセスに関する方針

3.1 年2回の安定更新ルール

指数更新は年2回とし、透明性・安定性を維持する。

3.2 都市追加・変更手続きの厳格化

変更は承認プロセスを経て実施し、理由と手順を記録する。

3.3 運用マニュアルの遵守

TCCI 利用マニュアルに基づき、設計・算出・運用を厳密に行う。

4. 倫理および説明責任に関する方針

4.1 目的外利用の防止

TCCI は実務型補正指数として正しく使用されるよう説明責任を果たす。

4.2 クライアント企業と駐在員への説明責任

指数の前提・限界・注意点をわかりやすく説明する。

4.3 公平性・中立性の確保

恣意的なデータ操作を行わず、公平なプロセスを維持する。

5. コミュニケーションと文書管理

5.1 提供資料の正確性

最新かつ正確な資料提供を徹底する。

5.2 電子メールおよび文書の適正管理

クライアント情報を適切に管理し、外部流出を防ぐ。

6. サステナビリティ・社会的責任

6.1 ESG・生活品質要素の考慮

今後の指数拡張において社会的責任を踏まえたデータ活用を推進する。